わがまち熊谷のできごと





リーグワン開幕！王座奪還に向けて、埼玉ワイルドナイツ開幕戦勝利！

日本ラグビーの最高峰「リーグワン」が12月9日に開幕し、我らが埼玉ワイルドナイツは12月10日に熊谷ラグビー場で初陣を迎えました。会場に駆け付けた1万2千人超ものファンから声援を受け、横浜キヤノンイーグルスに53-12で勝利し、王座奪還に向けて好スタートを切りました。





星川がドレスアップ！ 3月31日までイルミネーションをお楽しみください♪

12月9日、星川でイルミネーション点灯式が行われました。本市出身のオペラ歌手 原田勇雅（はらだゆうや）さんによるミニコンサートや、同時開催の星川夜市、サンタさんの星川おさんぽナイトに参加する方々で当日は大いににぎわいました。



パパ・ママへ。「ひよこ教室」って、知っていますか？

12月13日、4～5か月期からの育児についてお話や絵本プレゼントを行う「ひよこ教室」が開催されました。今後も対象の方へはハガキでご案内します！お子さんと一緒にぜひご参加ください。



いざ、プロの世界へ！

12月15日、ジュビロ磐田などJリーグのチームに内定した立正大学サッカー部の部員４人が市長を訪問し、今後の抱負を語りました。



市内全小中学校でタグラグビー教室開催！

12月20日、アルカス熊谷の選手とスタッフの方々が中条中学校でタグラグビー教室を行いました。アルカス熊谷は市内全ての小中学校でタグラグビー教室を行っています。



各地へ広がるベースボール5（ファイブ）の魅力！

12月26日、ベースボール5日本代表の内山瑞輝（うちやまみずき）選手率いるU15チーム、ヴィヴァーチェ熊谷が市長を訪問し、「Baseball5 Festival2023 U15部門」での優勝や、競技普及の報告を行いました。








二十歳おめでとうございます！

1月7日、彩の国くまがやドーム体育館で熊谷市成人式が執り行われました。式典では、成人代表により誓いの言葉を述べられたほか、小学4年生代表による「ハーフ成人の誓い」も行われました。皆さん、おめでとうございます！

Q 読んで当てよう！ 市報クイズ

今月の問題

次の○○に当てはまる言葉をお書きください。

年間を通して多種多様なスポーツが楽しめる熊谷‼

「○○○○タウン熊谷」を楽しみ尽くしましょう！

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。

Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題の回答・アンケートの回答を必ず明記し、2月29日(木)までにご応募ください。(1人につき1通)

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町2-47-1
熊谷市広報広聴課

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

12月号の正解

ビーイング

◆応募総数124通中　正解116通

今月のプレゼント

「KUMAGAYA RAMEN STAND」から『お好きなラーメン（1,000円以下）1杯』を20人にご提供します！

※1,000円を超える場合は差額をお支払いください。


プレゼント例

お店の方からひとこと

ぜひ一度自慢の「昆布水つけ麺」を食べていただきたいです！

担当者からひとこと

吹き抜けの店内はカフェのようなデザインで、「一人客や女性でも入りやすいお店にしたい」のコンセプトどおりです。近年人気の「昆布水つけ麺」、あっさり系、こってり系と、何度行っても飽きのこない豊富なメニューがいっぱいです！


店舗外観

[店舗情報]



KUMAGAYA RAMEN STAND
住　所：熊谷市籠原南3-443
営業時間：11:00 ～ 14:00、17:00 ～ 21:00
定休日：不定休

インスタグラム
@kumagaya.ramen.stand

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業などを募集しています。詳しくは、広報広聴課TEL内線212までお問い合わせください。

情熱世代
夢追い人
Dream Followers

「恩返し」をプレーに込めて

吉澤（よしざわ）　太一（たいち）さん

セブンズ日本代表 / レッドハリケーンズ大阪
（ジャパンラグビー リーグワン ディビジョン2）
（奈良中学校出身）



怖さもふっとぶラグビーの魅力

中学2年生の時、ラグビー部がある奈良中への転校がきっかけでラグビーを始めました。初めは、体がぶつかり合う鈍い音に怖さもありましたが、「チーム全員でボールをつないで点を取る」部分に魅力を感じ、次第にはまっていきました。ぶつかり合う音も、集中していると案外聞こえないものです。（笑）

「けが」で気づいたラグビーへの気持ち

その後、正智深谷高校、立正大学と、それぞれラグビー部から声をかけていただき進学しました。それまではとにかく目の前の練習や試合に一生懸命で、ラグビー選手を「将来の夢」として意識していたわけではありませんでした。

それが変わったのは大学2年生の終わりの頃。気付かないうちに右手首の骨が欠け、完治までの半年間、ラグビーができなくなってしまいました。

それから「もっとラグビーをしたい」という思いが溢（あふ）れ、自分の中でラグビーの存在がこんなにも大きくなっていたことに気付かされた期間でした。そこから「ラグビー選手」を「将来の夢」として意識し、より一層練習に励むようになりました。

自分の「弱み」は「強み」に変えられる

私は、ラグビー選手としては恵まれた体格ではありません。タックルされるとどうしても力負けすることもあります。

その弱みをカバーするためにも、相手の攻撃にすぐに反応できるよう練習を重ねました。今ではそれが誰にも負けない自分の強みだと自信を持って言えます。

7人制ラグビーの日本代表として選んでいただいたのも、そういった点を評価していただいたのかなと思っています。

「恩返し」の気持ちで臨んだ決勝戦

パリ五輪出場をかけたアジア予選決勝は、ラグビー人生で1、2を争うほどの緊張感でした。それでも、ラグビーの原点である熊谷で関わった方々、以前所属していたチームメンバーやスタッフ、ファンの方々、そして今のチームのみんなに支えられてここまで来たので、恩返しをしたい。そんな気持ちで決勝に臨みました。

それだけに、五輪出場を決めた時は、みんなに恩返しができたうれしさがこみ上げました。

今後、パリ五輪メンバーに選出され、更なる恩返しができるよう、まずは現在行われている国内のリーグワンで自分の強みを生かして戦っていきたいと思っています。

熊谷出身の選手として、熊谷の子どもたちに夢を与えられるような選手になるよう頑張ります。

応援よろしくお願いします！


パリ五輪出場を決めた試合後の吉澤選手

CHECK
くまがや市 公式SNS
X(Twitter) @kumagayacity
Instagram @kumagaya_city
クマぶら kumagaya_city
YouTube 熊谷市公式チャンネル
知りたい情報きっと見つかる
QR SAMPLE SCAN QR CODE

人口と世帯

●令和6年1月1日現在（対前月比）
■人口　192,074人（-202）　男　96,157人（-137）　女　95,917人（-65）　■世帯　89,979（-60）

「市報くまがや」2月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり24円です。

●発行日　令和6年2月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1156（直通）　FAX 048-520-2870
「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）https://www.city.kumagaya.lg.jp/